

製品名: CNT2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09136**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65kDa

抗原情報

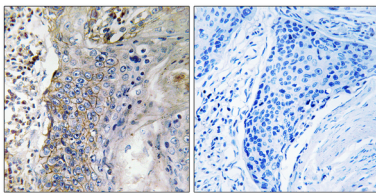
遺伝子名	SLC28A2
別名	SLC28A2; CNT2; Sodium/nucleoside cotransporter 2; Concentrative nucleoside transporter 2; CNT 2; hCNT2; Na(+)/nucleoside cotransporter 2; Sodium-coupled nucleoside transporter 2; Sodium/purine nucleoside co-transporter; SPNT; Solute carrier
遺伝子 ID	9153.0
SwissProt ID	O43868
免疫原	抗血清はヒト SLC28A2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 371-420

背景

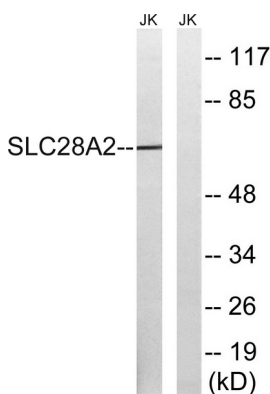
酵素調節: フォルマイシン B によって阻害される。機能: ナトリウム依存性およびプリン選択的トランスポーター。ヌクレオシド輸送システム cif または N1 サブタイプ (N1/cif) (プリンヌクレオシドおよびウリジン選択的) の輸送特性を示す。腎臓およびその他の組織におけるプリンヌクレオシドの特異的な取り込みおよび回収において重要な役割を果たしている。類似性: 濃縮ヌクレオシドトランスポーター (CNT) (TC 2.A.41) ファミリーに属する。組織特異性: 心臓および骨格筋に発現し、次いで肝臓、腎臓、腸、膵臓、胎盤、脳に発現する。肺では弱い発現である。酵素調節: フォルマイシン B によって阻害される。機能: ナトリウム依存性およびプリン選択的トランスポーター。ヌクレオシド輸送システム cif または N1 サブタイプ (N1/cif) の輸送特性 (プリンヌクレオシドおよびウリジン選択性) を示す。腎臓などの組織におけるプリンヌクレオシドの特異的な取り込みと回収において重要な役割を果たす。類似性: 濃縮型ヌクレオシドトランスポーター (CNT) (TC 2.A.41) ファミリーに属する。組織特異性: 心臓および骨格筋に発現し、次いで肝臓、腎臓、腸管、膵臓、胎盤、脳に発現する。肺では弱い発現を示す。

研究分野

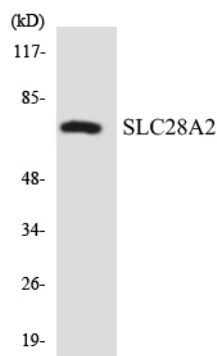
画像データ



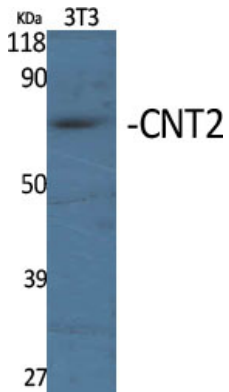
SLC28A2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



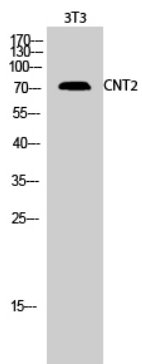
SLC28A2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SLC28A2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



CNT2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



CNT2 ポリクローナル抗体を用いた3T3細胞のウェスタンブロット解析